



随時



岡山市広報連絡資料

令和7年12月23日

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和7年12月16日(火) 速報 令和7年12月23日(火)

2 患者数

1名(男、小学生)

3 概要

(1) 経過

- 12月16日(火) 患者(岡山市)は、発熱の症状を呈した。
12月17日(水) 患者は水様便及び腹痛の症状を呈し、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
12月18日(木) 患者は血便の症状を呈し、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
12月22日(月) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2) その他

- ・患者の症状は消失している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	27人
県内(岡山市を除く。)	63人
県内合計	90人

(岡山市の前年同時期の発生状況:20人)

- ◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。
◎岡山県は7月30日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。
※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)
十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751